

令和3年度

学校だより

京都市立醍醐中学校

第11号



令和4年1月6日 文責 林

3学期が始まる

新年あけましておめでとうございます。令和4（2022）年が始まりました。本年もどうぞよろしく願いいたします。年が改まって新型コロナウイルス感染症は、変異株であるオミクロン株による感染が拡大しています。引き続き、マスクの着用や手洗いの励行、3密の回避など感染対策を徹底していく必要があります。学校生活でも感染対策を徹底してできることをできる範囲で行っていかうと考えています。今日は、3学期の始業式です。生徒の皆さんが元気に笑顔で登校してくれたことをうれしく思います。3学期も1日1日を大切に充実した学校生活を送ってください。

さて、「一年の計は元旦にあり」と言われます。中国 明の時代の学者が記した言葉が由来とされています。物事は最初にしっかり計画を立ててから進むべきという意味です。先日、新聞を読んでいると「現在バイアス」という言葉がありました。「バイアス」というのは先入観や偏りのことです。「現在バイアス」は、長期的な展望より、目先の利益を優先する心理的な偏りをいうのだそうです。筋書き通りにことを運ぶのは簡単ではなく人間の自制心ももろさがある、問題や課題を先送りしてしまいがちです。この後、新聞記事はアメリカ大リーグで活躍する大谷翔平選手が高校生の時に作成した「目標達成シート」を紹介しています。プロ野球選手として活躍する目標の実現に必要な行動を記した81マスの表には「本を読む」「ゴミ拾い」も含まれていたそうです。野球とは直接関係がないように見えるが、長期的な視点で自身に課題を与え、先送りすることなく人間としての土台作りを考え、目標に向き合い、一步一步目標に近づいていったことが今の活躍につながっていると記事は結ばれています。

目標は、長期的な目標と短期的な目標に分けてたてた方がよいと聞いたことがあります。長期的とは10年先、短期的とは一週間先と考えると長期的な目標を達成するためには、短期的な目標をこつこつと達成していくことが必要です。このことは、先ほどの新聞記事につながります。生徒の皆さんもぜひ、長期的な目標と短期的な目標をたててみてください。

「バイアス」といえば「正常性バイアス」というのも聞くことがあります。これは、自分にとって都合が悪い情報を無視したり、過小評価してしまう傾向があるというものです。人間は、予期しないことに出あうと「そんなことありえない」という先入観や偏り（バイアス）により正常な判断ができなくなることがあります。例えば、大雨で危険性が高まり、避難しなければならぬ状況になっても避難せず逃げ遅れてしまうことがあります。後でその時のことを聞いてみると「私は大丈夫だと判断した」との返答が返ってくる場合があります。まさに「正常性バイアス」です。また、近くに避難しない人がいると自分も避難しなくて大丈夫と判断してしまう傾向もあるそうです。「正常性バイアス」を解消するためには、日常からの備え、避難訓練や水や食料の備蓄が大切です。避難訓練をすることで最悪を想定した行動を考えるようになるのではないのでしょうか。水や食料を備蓄することで万一の時に役立ちます。今年も1月17日がもうすぐ巡ってきます。1995年に阪神淡路大震災が起きて27年になります。「災害は忘れたころにやってくる」といいます。今一度、「正常性バイアス」を解消し、災害への備えについて考えたいものです。加えて、情報が過多になり、錯綜することが多い現状で、情報を正確に判断し、適切な行動をとれるようにする力を育てることも大切です。

（裏面もご覧ください）



ふれあい体験

12月3日（金）、7日（火）、17日（金）に3年生の「ふれあい体験」を実施しました。「ふれあい体験」は、保幼中の交流事業の一環で、3年生の家庭科の授業で行いました。校区内の「端山の丘こども園」にご協力いただきました。

生徒の皆さんは、園児とのふれあいを楽しみました。終わりころには「まだ帰りたくない」という声も聞こえました。（右の写真）



合唱発表会

12月8日（水）の5・6限に体育館と各教室で合唱発表会を行いました。10月に実施予定であった学校祭合唱の部「合唱コンクール」の代替えとして実施しました。感染対策として、当該学年だけが体育館入り、学年合唱と各クラスの合唱を披露しました。他学年は、オンラインにより教室で視聴しました。

準備期間が短かったのですが、最初に1年生が元気なハーモニーを響かせました。続いて2年生は、昨年から大きく成長した美しいハーモニーを響かせました。来年の3年生での合唱が楽しみです。3年生は、進路選択を控えて不安が大きかったと思いますが学年、クラスが団結して素晴らしいハーモニーでした。（右の写真）



調理実習

12月10日（金）に2年生は調理実習を行いました。久しぶりの調理実習です。コロナ感染対策を徹底して行いました。班で協力してシューマイを作りました。食材の水菜は、技術科の授業で育てたものです。

調理室の中は、生徒の笑顔があふれていました。（左下写真）



生徒会「ハッピーライフ Week」

生徒会が、「ハッピーライフ Week」を展開しました。2週間にわたり、多彩な活動が行われました。あいさつ運動や醍醐体操の考案と動画撮影、MDR活動の決意表明などです。

その中で生徒会本部は、「グッときたタワー」を制作しました。生徒の皆さんがお互いで「よいところ」を見つけて、「ぐっときたは〜」という言葉のしおりを作り、それを集めて「グッときたタワー」を完成させました。

「ぐっときた」は辞書には、「心に衝撃を受けるさま、強い感銘を覚えるさま、何かしら心に響くものがあるさま、などを意味する表現」とあります。「持久走で、みんながみんなのことを応援していた」「友達が漢字を教えてくれた」「みんなで笑えてグッときたわ〜」などいろいろな「ぐっときたは〜」により「グッときたタワー」ができました。（上の真ん中の写真）